



NEW

県立病院ニュース

～病院に関係する全ての人から信頼される病院を目指して～

第162号 令和4年3月 病院局発行

このたび、県立病院経営委員会から「新潟県病院事業の取組方針」の令和2年度取組状況に対する客観的評価の報告がありましたので、令和3年度に実施した「信頼される県立病院づくりアンケート調査結果」とあわせてお知らせします。

令和2年度の取組状況に対する客観的評価

評価項目	自己評価		客観的評価	評価基準	自己評価	客観的評価(案)	
	平均点	評価ランク	判定				
1. 医療機能等に関する事項				十分な成果がある	S	◎	
① 県民から信頼される病院づくり調査	1.0	C	△	一定の成果がある	A	○	
県立病院の信頼性							
うち過去3年以内利用者の信頼性							
職員満足度							
病院機能評価認定病院数				成果はあるがまだ不十分	B	△	
② 研修教育機能 [基幹型臨床研修病院]	2.3	A	○	あまり成果がない	C	×	
次年度初期臨床研修医採用予定者数							
学生等の病院実習受入数							
学生等の病院見学受入数							
2. 収益的収支に関する事項							
① 経営指標の状況 (医業収支比率)	1.0	C	△				
② その他経営指標の状況	1.9	B	△				
経常収支比率							
職員給与費対医業収益比率							
病床利用率							
入院診療単価							

※平均点は、目標達成度110%以上が3.0点の最高ランクとする評点の平均

※「客観的評価」については、上表にある自己評価に基づく客観的評価(案)を標準として、経営委員会で審議の上、決定するので、上表と異なる場合がある。

3. 総合評価 (客観的評価)

<経営改善>

・令和2年度の収益的収支全体の決算としては、令和元年度からの経営改善に関する緊急的な取組に加え、新型コロナ対応関連補助金という特殊事情により黒字決算となったが、それは県立病院がセーフティネットの役割を果たしたという裏返しでもあり、医療事業と政策事業の合計である経常損益が黒字であったことは評価されるものである。
 ・一方、人口減少が続く中、医業収益が増加に転じるのは難しく、令和3年度以降は予算を許さない状況にあることから、人口減少を前提とした経営に取り組む必要がある。
 ・引き続き、徹底した経営改善及び県立病院の役割・あり方の見直しにより、将来、予測される内部留保資金の枯渇を回避されたい。

<県立病院の役割・あり方>

・県立病院の役割・あり方の見直しについては、これまでの方針で取り組むべきである。
 ・地域医療構想の実現に向け、各圏域で議論が行われているが、県立病院の役割は特に注目されているので、県立病院の役割・あり方の見直しを進展させる機会と捉え、積極的に議論に参加してほしい。
 ・地域に医療がなければ人は住むことができないので、経営の効率化一辺倒ではなく、住民目線で医療提供体制を考えていく必要がある。
 ・医療提供体制の確保という観点から医療機関の役割分担は必須ではあるが、地域の現状を踏まえ、必要な機能は残していくということが理解されるよう、丁寧に協議を重ねてほしい。

令和3年度住民ニーズ調査 結果概要

調査概要

- (1)調査対象：県立病院の圏域内に居住する満18歳以上の男女個人
(精神、リウマチを除く)
- (2)抽出方法：各市町村の選挙人名簿からの系統無作為抽出
- (3)調査方法：郵送調査
- (4)調査期間：R3.9.28～10.11
- (5)回答者数：2,298人（回収率44.2%） ※R2：2,716人（回収率52.2%）

調査結果

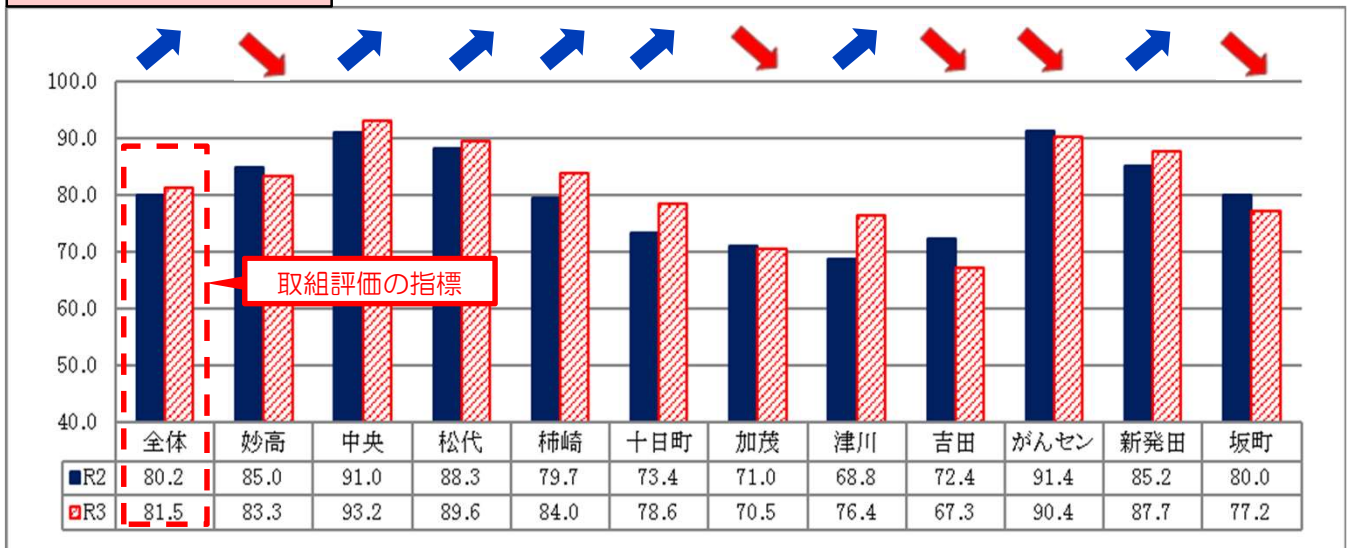
【信頼度】

全体の信頼度は、**81.5%**(R2：80.2%)と、前年度に比べ**上昇**しました。
病院別では、11病院中**6病院で上昇**しました。

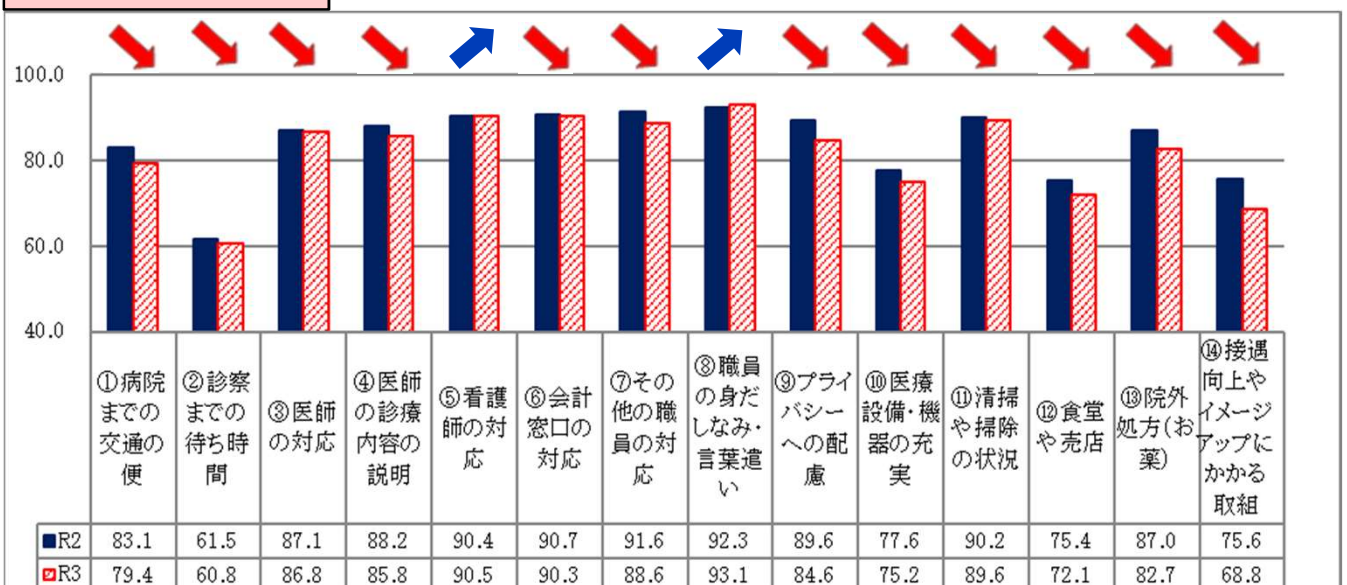
【満足度】

14項目中前年度より**上昇したのは2項目**で、最も高いのは「**職員の身だしなみ・言葉遣い**」(93.1%)、最も低いのは「**診察までの待ち時間**」(60.8%)となりました。

住民からの**信頼度**



住民からの**満足度**



令和3年度医療関係者調査 結果概要

調査概要

- (1)調査対象：県立病院との連携業務に従事している医療機関の医師、県内市町村の保健師
県立病院への救急搬送業務に従事している県内消防本部の救急隊員
- (2)調査方法：郵送調査
- (3)調査期間：R3.9.29～10.20
- (4)回答者数：医師223人（回収率55.5%） 保健師34人（回収率56.7%）
救急隊員39人（回収率100.0%）

調査結果

【医師の満足度】

医師の信頼度は、5項目中前年度より**上昇したのは3項目**で、最も高いのは「**看護師の対応**」（90.0%）、最も低いのは「**医師の対応**」（85.8%）となりました。

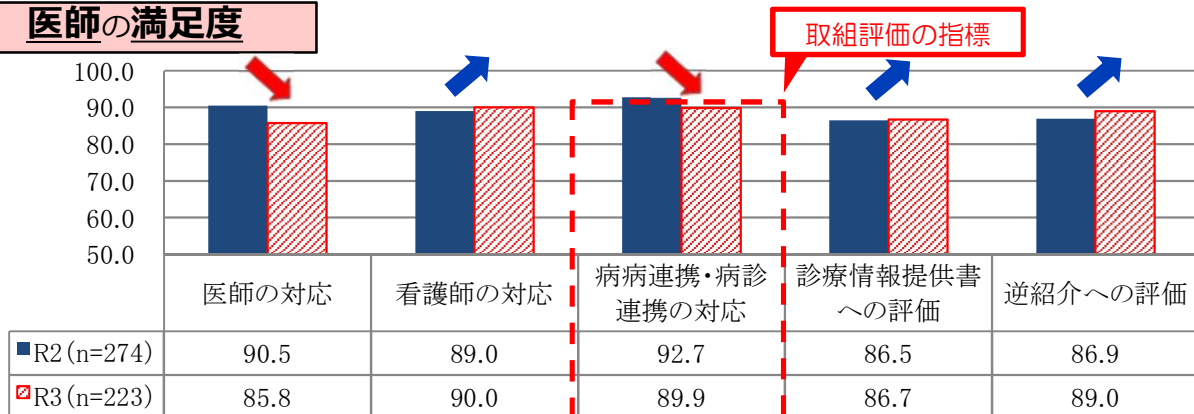
【保健師の満足度】

保健師の満足度は、5項目中前年度より**低下したのは4項目**で、最も高いのは「**病院窓口での対応**」（91.2%）で、最も低いのは「**医師の対応**」（79.5%）となりました。

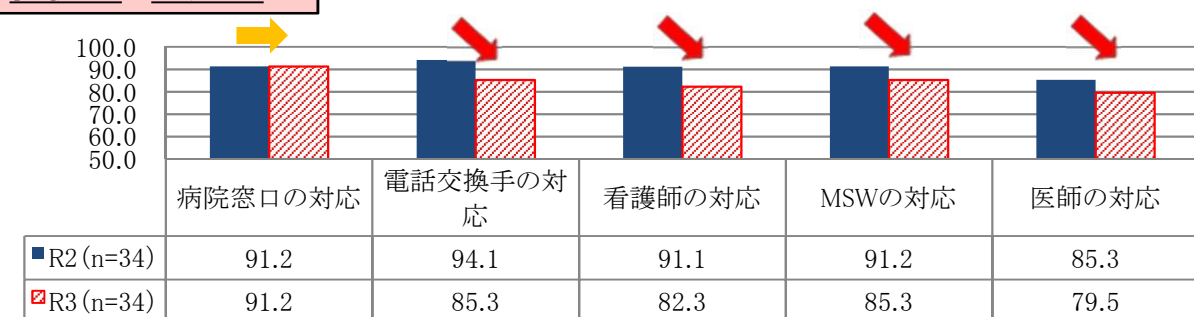
【救急隊員の満足度】

救急隊員の満足度は、6項目中前年度より**上昇したのは2項目**で、最も高いのは「**看護師の対応**」（92.3%）、最も低いのは「**全般的な救急医療体制**」（58.9%）となりました。

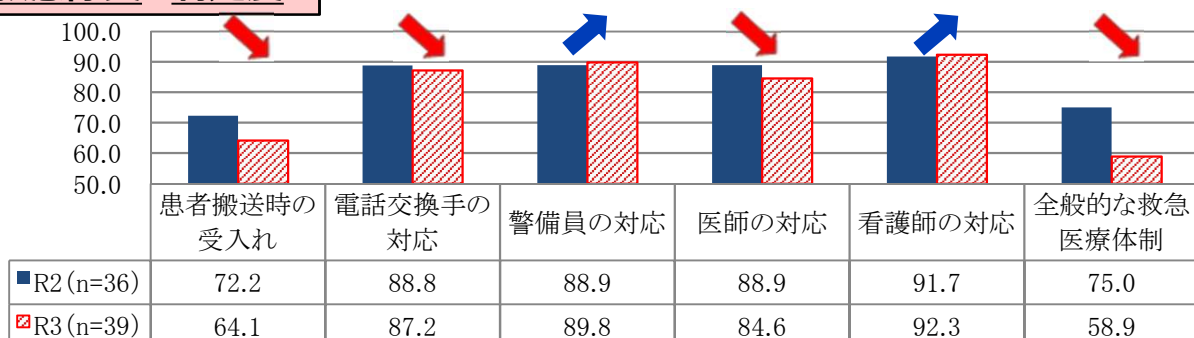
医師の満足度



保健師の満足度



救急隊員の満足度



令和3年度職員意識調査 結果概要

調査概要

- (1)調査対象：全県立病院職員
- (2)調査方法：各病院にてアンケート用紙を配布・回収
- (3)調査期間：R3.9～10月
- (4)回答者数：3,616人（回収率76.9%）※R2：3,820人（回収率82.5%）

調査結果

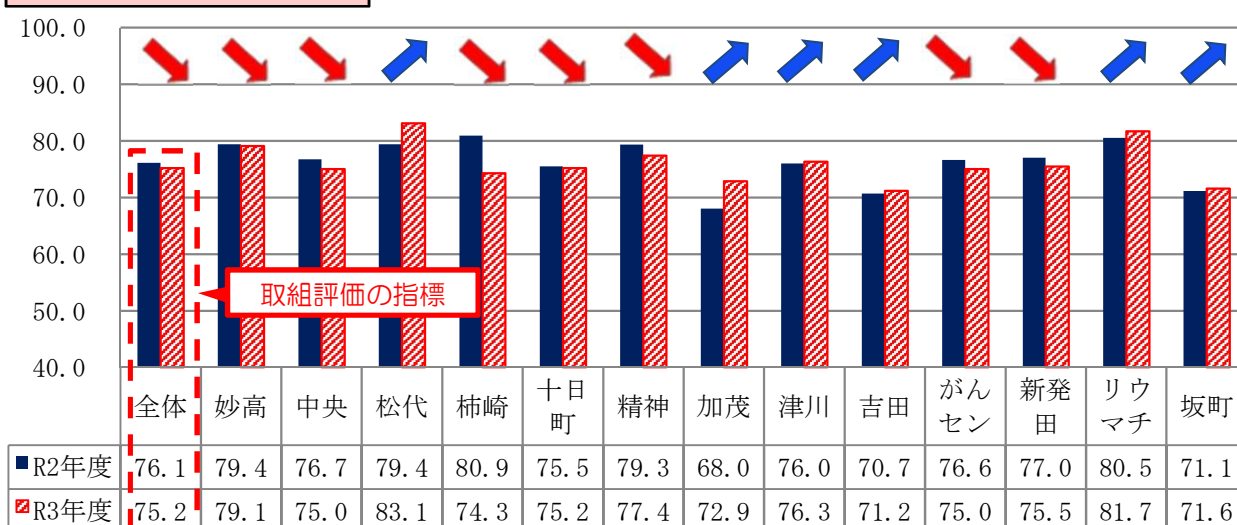
【総合満足度】

全体の総合満足度は、**75.2%**（R2：76.1%）と前年度に比べ**低下**しました。
病院別では、13病院中**6病院で上昇**しました。

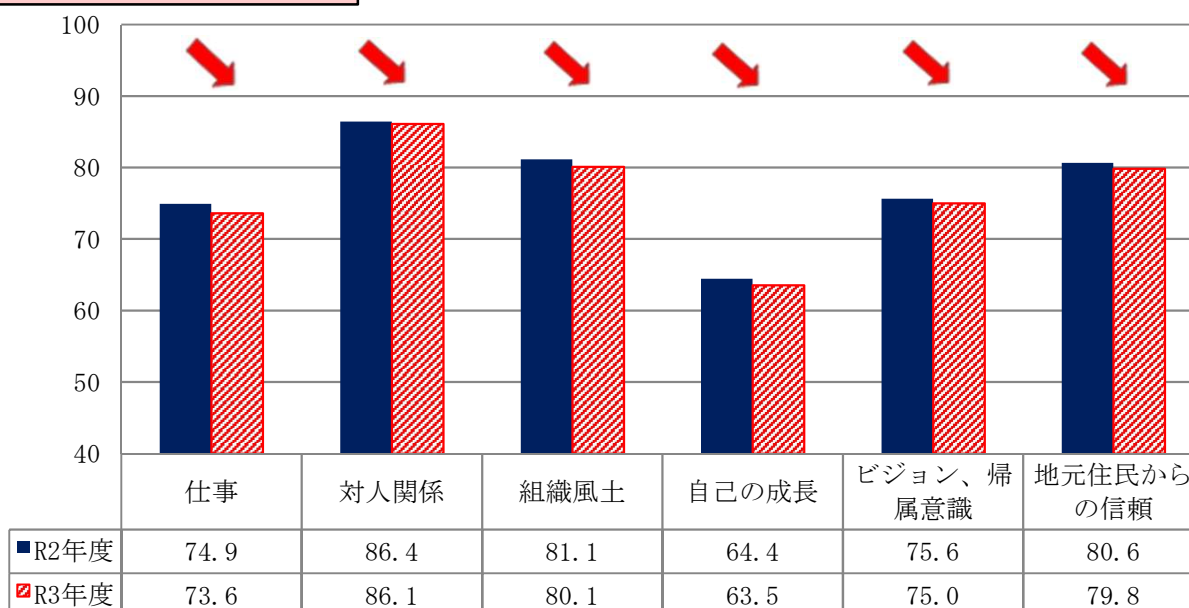
【項目別満足度】

全ての項目で前年度に比べ**低下**しました。

総合満足度



項目別満足度



【編集後記】

これまで持続可能な医療提供体制の確保に向けて、経営改善やサービス向上に取り組んできましたが、今回の評価や調査結果を踏まえて、より一層、地域住民や患者さんへのサービス向上などが図られればと思います。